



開講日・会場・その他行事

- ◆ 毎月第2土曜 ※会場・講師の都合により変更があります。
また緊急事態宣言等による日程変更もあります。

午後1時より午後5時（終了予定）

- ◆ 研修会場（下記会場のいずれかです）

- ① 大阪市中央公会堂（現況主会場）
- ② 大阪城ホール内コンベンションホール

- ◆ 年二回の宿泊研修

令和4年11月（修養団伊勢研修センター）

令和5年3月（高野山宿坊）

※コロナ禍による状況変化により、単日開催・会場変更になる場合があります。

- ◆ 郊外学習「先哲 ふる里探訪」状況を鑑み開催

令和5年4月～6月予定（日帰り）行先・日程は追ってご案内いたします。

- ◆ 勉生講話

受講費

年間 78,000円（分割払い可 相談応）

※ 受講費請求は、入塾申込書受付後事務局よりご案内致します。

◆ 但し、人間学塾・中之島／天分塾卒塾者は、年間 68,000円

◇ 宿泊研修 11月・3月 各一泊二日（各費用 20,000円程度）

◇ 必要に応じて懇親会開催（費用 3,000円程度）



塾 是

- 森 信三先生を中心とした先哲に学ぶ。
- 日常生活の細事を軽んぜず、徳行に努める。
- 心願以て万事の源と為し、世界の手本となる人間塾を創る。

第十一期 募生募集 案 内



※ 2021年3月までメイン会場を、大阪大学中之島センターにおいて開塾して参りましたが、4月以降近隣の都市開発による会場の内外装改修（2023年4月竣工予定）のため今期も使用が不可能となります。よって左記の会場にて、開塾致します。

- ◇ 念々感謝
- ◇ 念々心願
- ◇ 念々志学
- 生涯学習を
目指しましょう
- 一步貢献を
目覚めましょう
- 師恩友益に
念じましょう

三大綱領

「三つの誓い」

- 一つでいい 一つがいい 小さな一つを やりつけよう [行持]
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 願いをもとう [心願]
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 実を結ぼう [結果]

当塾の前身は「天分塾」にあり、森信三先生の高弟、寺田一清先生のご指導のもと新たに開塾した。源流は江戸期大坂にて幾多の人材を輩出した「適塾」「懐徳堂」「心学講舎」などにある。

年間開講日程

| 開講日 | 講 師 | テマ |
|----------------------------|-------|-----------------------------|
| 9月10日(土) | | 入塾式 |
| 10月8日(土) | 池間哲郎 | 「日本なぜアフリカ国から愛されるか今 積極学びきこと」 |
| 11月12日(土) ※宿泊研修 | 山元加津子 | 「大好きは 魔法のことば」 |
| 11月13日(日) | 武田数宏 | 「ヤマトのこころ」 |
| 12月17日(土) ※第三土曜 令和5年 | 上甲 晃 | 「人生、終わり良ければすべて良し」 |
| 1月14日(土) | 木南一志 | 「掃除とハガキ」 |
| 2月18日(土) ※第三土曜 | 横田南嶺 | 「禅の教えに学ぶ」 |
| 3月11日(土) ※宿泊研修 | 白駒妃登美 | 「歴史を学ぶと 希望が生まれる」 |
| 3月12日(日) | 天明 茂 | 「先祖の徳を継承し 天命に生きる」 |
| 4月8日(土) | 津曲 孝 | 「生きざまの中から 生き方を学びました」 |
| 5月13日(土) | 向野幾世 | 「生まれてきて 良かった」 |
| 6月10日(土) | 原田隆史 | 「大谷翔平を育てた 曼荼羅ワーク」 |
| 7月8日(土) | 福永道子 | 「小さな歩み 大きな喜び」 |
| 8月12日(土) | | 卒塾式 |

事務局

〒567-0861 茨木市東奈良2-7-10
 「人間学塾・中之島」 古田修平 内
 TEL・FAX 072-635-3590
 P/C M-アドレス shfuruta5228@gmail.com
 070-6500-4608

※コロナ禍による活動等に制限が発出された場合、日程・会場等を変更する場合があります。



いけまつろう
池間哲郎

1954年 沖縄県生まれ。幼少期は沖縄本島北部の自然豊かな本部町で生活。米軍統治下時代、米兵の闇がある基地の街で多感な青年期を過ごした。サラリーマンを経て29歳の時に映像制作会社を設立。経営者、カメラマンとして結婚式、記録映像等の撮影・制作を行う。その一方、出張で訪れた台湾で山岳民族の貧困と人身売買問題を知ったことをきっかけに、支援活動を続け、生きることの大切さ・感謝の心・命の尊さを今一度見つめ直そうと伝えている。



やまもとかつこ
山元加津子

元石川県明和養護学校教諭(2014年に退職)障害を持った子どもたちと、教師と生徒という関係ではなく、かけがえのない一人の友達としてふれあいを続けています。分け隔てなく、ありのままに受け入れる姿勢は、子どもたちの個性や長所をめちゃくちゃ引き出しています。そんな子どもたちの素敵さを多くの人に知つてもらおうと、国内外での講演・著作活動など多方面に活躍中。



たけだかずひろ
武田数宏

1958年 福島県安達郡生まれ。1980年淑徳大学・社会福祉学部／社会福祉学科卒業。同年、財団法人修養団に勤務。1981年(財)修養団伊勢青少年研修センターにおいて、各種講習会・研修会に従事。公益財団法人修養団常務理事、伊勢青少年研修センター所長、関西会館館長、講師。著書『伊勢の杜にようこそ』



てんみょう しげる
天明茂

1941年 大阪市生まれ。1965年松下電器産業(株)に入社。1981年財団法人松下政経塾に出向。理事・塾頭を歴任。1996年退社し志ネットワーク社を設立。1997年「青年塾」を創設。現在第25期生を迎えて、累計約2300名を超える。主な著書『志のみ持參』『人間として一流をめざす』『志を教える』『志を継ぐ』など著書多数。



つまがり たかし
津曲孝

1959年 兵庫県生まれ。株式会社新宮運送代表取締役。『S-DEC運動』という、4000日間の無事故無違反を推進する循環型の運動を実施、「事故が起きたても仕方がない」という考え方を壊し、社員の自発的な努力の必要性を促している。本物と呼ばれるような企業を目指して、柔軟なスタンスで事業を推し進めている。

第11期 講師紹介



よこたなんりん
横田南嶺

1964年 和歌山県新宮市生まれ。1983年筑波大学に入学。東京都文京区白山道場龍雲院 小池心叟老師について出家得度。1987年筑波大学卒業、京都建仁寺僧堂、円覚寺僧堂にて修行。円覚寺足立大進老師に嗣法。2010年臨済宗円覚寺派管長に就任。『祈りの延命十句観音經』『二度とない人生だから今日一日は笑顔でいる』など著書多数。



しらこまひどみ
白駒妃登美

福岡市在住。幼い頃より伝記や歴史の本を読み、福沢諭吉に憧れて慶應義塾大学に進学。大手航空会社に入社し、国際線に乗務。その後、大病をわずらい、命と向き合うなかで、先人たちの生きざまを振り返り、生き方を変えたことで病状が奇跡的に快復した経験から、その気づきに導いてくれた、先人たちの「志」や、「思い」に触れる歴史の講演を始める。2012年「株式会社ことほぎ」を設立、講演活動を開始する。全国各地で「志」を磨きあう道場、「志」和ごろ塾を主宰し、塾長を務める。



てんみょう しげる
天明茂

1942年東京生まれ 大学卒業後、経営コンサルティングの世界に入り、「上が変われば下が変わる。自分が変われば相手が変わる、家庭が変われば職場が変わる」という信念と、「目に見えない幽なる世界が、目に見える顯なる世界を司る」というコンセプトで生き方と経営の支援に携わってきた。大きな声で歯切れが良く、難しい事柄を分かりやすく、面白く話し、決して眠らせない。もちろん「大学教授らしさ」はみじんも感じさせない。



つまがり たかし
津曲孝

1950年宮崎県生まれ。株式会社エーデルワイスに入社後、精進し数々のコンテストで優勝を重ねた。1980年に同社の取締役製造本部長を務めるとともに、株式会社アンテノール代表取締役社長にも就任し、精力的な商品開発を行った。1987年西宮市甲陽園で「ケーキハウスツマガリ」を始める。年秋の黄綾褒章(一筋に業務に励み、模範となつた人に授与される褒章)を受章。



こうのいくよ
向野幾世

香川県生まれ。国立奈良女子大学卒業。国立教護事業職員養成所修了。これまでに、肢体不自由児施設児童指導員、奈良県立明日香養護学校教諭、奈良県立障害児教育センター所長、西の京養護学校校長、奈良県立教育研究所障害児教育部長、奈良大学講師などを歴任し、社会に貢献。

※ 講師は、都合により講師の推薦する方に変更する場合があります。



はらだたかし
原田隆史

1960年大阪市生まれ。奈良教育大学卒業後、大阪市内の公立中学校に20年間勤務。保健体育指導、生徒指導に注力、問題を抱える教育現場を次々と立て直し、「生活指導の神様」と呼ばれる。独自の育成手法「原田メソッド」により、勤務3校目の陸上競技部を7年間で13回の日本一に導く。大阪市教職員退職後、大学講師を経て、2008年に起業。株式会社原田教育研究所 代表取締役社長。『成功的教科書 熱血!原田塾のすべて』ほか著書多数



ふくながみちこ
福永道子

岡山県に生まれる。1967年浪速短大通信教育部を卒業、豊中市私立服部幼稚園勤務。その後玉川大学通信教育部に入学。1971年4月より豊中市立庄内西小学校、豊島西小学校に勤務し1977年3月退職する。1983年4月「あゆみ保育園」開設。1984年10月保育士資格取得試験に合格。2013年3月、30周年にて閉園する。著書は『つぶやき短信』、『ハガキ通信百号記念『小さな歩み大きな喜び』』『あゆみ保育園10周年記念『あゆみの宝 野辺の道草 一輪の花』他。



藝能の藝能による藝能のための藝

代表 中川千都子

副代表 古田修平

副代表 松本 学

世話人 加藤昌夫

近藤宏枝

西村俊幸

山路直美

福本浩之

柴原啓司

顧問 清水正博

細川三郎